様式A　技術英語講読（福田）

<table>
<tr><td colspan="6">科目にかかわる情報</td></tr>
<tr><td rowspan="3">科目の基本情報</td><td>授業科目
（欧文）</td><td colspan="2">技術英語講読
Reading on Technical English</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>一般・専門の別・学習の分野</td><td>専門・自然科学系基礎・共通</td><td colspan="2">授業形態・学期</td><td>講義・前期</td></tr>
<tr><td>対象学生</td><td>ＭＳ－１</td><td colspan="2">必修・選択必修・選択の別</td><td>選択</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教官にかかわる情報</td><td>担当教官・所属</td><td colspan="4">福田昌准・機械工学科</td></tr>
<tr><td>研究室等の連絡先</td><td colspan="4">研究室：福田，機械・電気電子工学科棟１階
E-mail：fukuda@tsuyama-ct.ac.jp</td></tr>
<tr><td rowspan="4">科目の学習・教育内容にかかわる情報</td><td>基礎となる学問分野</td><td>工学／機械工学</td><td colspan="2">学習・教育目標</td><td>（Ｆ）</td></tr>
<tr><td>授業の概要</td><td colspan="4">機械・制御システムに関する取扱説明書，マニュアル，教科書等の技術英文の講読と文献紹介を行う。専門知識を確認しながら読解力の育成を図るとともに，技術英文の内容をまとめて発表する文献紹介を通してプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力の育成を図る。</td></tr>
<tr><td>学習目的</td><td colspan="4">英文の技術書や取扱説明書の内容を理解して仕事に活用したり，これを要約して分かりやすく伝えるための素養を育成する。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="4">１．技術英語単語の理解を深める。
２．専門知識を生かしながら，簡単な技術英語を理解できる。
３．技術英文の内容を要約して発表し，質疑応答に対応できる。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">履修にかかわると履修のアドバイス</td><td>履修上の注意</td><td colspan="4">文献紹介(発表)を行わない場合は，単位認定をしない。</td></tr>
<tr><td>技術者教育プログラムとの関連</td><td colspan="4">本科目が主体とする学習・教育目標は「(F)コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力の育成」である。</td></tr>
<tr><td>履修のアドバイス</td><td colspan="4">専門分野の基礎知識が前提となる。必ず予習をし，毎日英語に触れる機会を持つように心掛けること。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基礎・関連科目にかかわる情報</td><td>基礎科目</td><td colspan="4">英語，機械工学・電子制御工学に関する専門基礎知識</td></tr>
<tr><td>関連科目</td><td colspan="4">実践英語Ⅰ(専１)，実践英語Ⅱ(専２)</td></tr>
</table>

授業にかかわる情報			
授業の方法			「技術英文の講読」では，学生が技術英文を順に和訳することによって授業を進め，裏付となる専門知識の確認も併せて行う。「文献紹介(発表)」では，内容をまとめる(概要作成)とともにOHPなどを用いて口頭による発表を行い，質疑応答を通して内容の理解を深める。
授業計画	開講週		内容〔項目〕(指示事項)
	前期	1週	講義の概要〔ガイダンス〕 大学入試問題(1)，ビデオレコーダーの取扱説明書
		2週・3週	教科書の英文：オットーサイクル(熱力学)，弾性とひずみ(材料力学) 短文(1)〔温度目盛，オームの法則〕
		4週	単語テスト(1)，短文(1)〔フライス盤〕 大学入試問題(2)〔地球温暖化〕，ベルヌーイの定理(流体工学)
		5週	インターネット，電熱(ジュール熱)
		6週	商品の注意書き，携帯電話
		7週	マニュアル〔フォークリフト〕，アルキメデスの原理
		8週～10週	アイロンの取扱説明書，小テスト(10週目)
		11週	大学入試問題(3)
		12週	短文(2)〔トランス，ボイルの法則〕，大学編入学試験問題，
		13週	単語テスト(2)，コンピュータ音楽
		14週・15週	文献紹介〔準備と発表〕 概要作成（主に自宅)，プログラム（概要付)を作成 （期末試験）
教科書，教材等			教科書：自作の教材(プリント) 参考書：
成績評価方法			期末試験成績（６０％)，小テスト(単語テスト)（２０％)，文献紹介(発表)（２０％）の総合評価とする。試験（単語テストを除く）には英和辞典の持込を許可する。
受講上のアドバイス			授業の理解を深めるために授業中に行う演習や与えられた課題には，各自で自発的，積極的に取り組むこと。